

夏の暑さから一転して、気温の低い、雨の多い日が続いています。  
子ども達の大好きなプール遊びも16日間と昨年より少ない日数になってしまいました。  
先日8月の身体測定をしました。久しぶりに会う子ども達は真っ黒に日焼けして一回り大きくなったように思います。実際ほとんどの子ども達の身長が伸びていました。これから運動会に向け子ども達は練習を頑張ります。  
夏の疲れが出てくる時です。生活リズムを整え早寝早起きを心がけましょう！！

## 「防災の日」に子ども達の事故について考えて見ましょう！！

乳幼児の発達の特徴として

- \* 乳児では頭が体に対して重く転んだ時に頭を打つことがおおい
- \* 歩きはじめは物にぶつかりやすく、つまづく事が多い
- \* 幼児では身長が低く視野も狭い、遊びに夢中になり周囲が目に入らない

### 遊びを通して怪我から身を守れる子どもに

#### ★ 顔・頭や口・歯の怪我を防ぐには

土踏まずの形成が遅く転びやすい→散歩等で歩く機会を増やす

転んでも手で体を支えられない→ハイハイの姿勢を遊びに取り入れましょう

口を開いている癖があり転んだ時唇や歯を傷つける→口笛やにらめっこで口唇周囲の筋肉を使わせましょう

#### ★ 平行機能・バランス機能が低下している。すぐ物や人にぶつかる。

バランスをとる片足で遊べる石蹴りや、ケンパーなどの遊びを取り入れる

物や人との距離を瞬時に判断し機敏性を育てる鬼ごっこなどの遊びを取り入れる

#### ★ ボールが目当たるなどの立体視機能の低下による怪我が増えている

→両方の目でちゃんと物を見ないために、距離の見積もりが出来ていない

立体的に物を見る機能を育てる遊びとして

ボールをける・打つ・投げる、お手玉、ビー玉などの遊び

#### ★ 肘が抜けやすい

腕の力を意識的に使うことを経験させる

- ・大人の指を握って自分の力で起き上がる
- ・段差や斜面でのハイハイ
- ・重いものを押す
- ・箱からの出入り

子どもの特徴から見ても子どもは怪我をすることが多いものですが、その怪我が大きな怪我に繋がらないように左記の遊びを日常に取り入れ意識して遊んでみては如何でしょうか？またお腹が空いていたり、体が疲れていると怪我の原因になることがあります。朝ごはんをしっかり食べ、十分な睡眠をとるようご家庭でもお願いいたします。

子どものケガ予防▼年齢別に気を付けたいこと▼

	0～1歳	1～3歳	3～6歳
落ちる	● <b>ベッド、ソファから</b> 寝かせていたり、またよじ登るのに失敗して転落	● <b>階段から</b> 1人で昇り降りして転落 階段の上下に柵を	● <b>ベランダや窓から</b> 外を見ようとして転落 ベランダに足場になるものを置かない
ひんぱん	● <b>座っていても</b> 頭が大きく不安定、バランスを崩しやすい家具の角に、クッションテープを	● <b>公園で遊ぶとき</b> ブランコや滑り台の降り口、ぶつかり転倒する目を離さず、安全な遊びを教える	● <b>お箸やフォークを持ったまま</b> 転んで、刺さることも。食事や歯磨きの最中には、動き回らないように
のみにせ	● <b>床や上にあるものを</b> 何でも口に入れてしまいます。 タバコ、葉、おもちゃやアクセサリーは、赤ちゃんの目の届かないところに	● <b>タバコや薬品、化粧品</b> 大人を真似て、口に入れることも。 子どもの手の届かない場所に保管しましょう	● <b>ジュースとまちがえて</b> お酒を口にしてしまうことがあります。少量でも急性アルコール中毒になる事もあるので注意！！
やけど	● <b>アイロン</b> 少し触れるだけで大やけどに。 使う時はその場を離れず、赤ちゃんの手の届くところに絶対おかない	● <b>テーブルの上</b> 熱いものが入った食器や鍋に触れたり、テーブルクロスを引っ張って、熱い物をこぼし、やけどをする危険があります	● <b>ライターやマッチで</b> 火傷だけでなく、火事を起こす危険も。 普段から火は危ないことをきちんと教える事が大切です

## 「9月1日防災の日・9月9日救急の日にちなんで」

すずらん組・ばら組の子どもたちを対象に、怪我等の応急手当についてお話をしました。

### 転んでひざをすりむいたとき

- ① 水道水で、よく洗う。
- ② 砂や砂利が付着している時は綿棒などできれいに取り除く。
- ③ 清潔なガーゼや絆創膏、ない時はハンカチで保護する。

**\*以前は傷は乾燥した方がよいと云われていましたが、最近ではワセリンを塗り絆創膏などで覆った方がよいとされています。**

### 火傷をしたとき

- ① 水道水で、痛みが軽くなるまで冷やす。(5～10分が目安)
- ② 洋服を着ている場合は、洋服の上から水道水で冷やす。
- ③ 水疱がある場合は、清潔なガーゼで保護し受診する。

### 鼻血が出たとき

- ① 椅子に座り下を向いて鼻をつまむ
- ② 息がしにくいので口で呼吸する。
- ③ 血は飲みこまないで吐きだす(飲み込むと吐気がする)
- ④ 血が止まりにくい時は鼻を冷やす。
- ⑤ 鼻の穴に綿を丸めたものを入れる時は時間を決め除去を忘れない。綿は鼻の奥に入らないように、先を出しておく。

### 虫に刺されたとき

**子ども達に聞くと・・・すぐに薬をつけるという意見が圧倒的でした。**

**薬をつける前にきれいに水道水で洗う方がよいことを話しました。**

- ① 搔かないですぐに流水で洗い流す。
- ② 痒みがある時は軟膏を塗布する。

**地震の時に窓ガラスが割れて怪我をしたと仮定し、その時の応急処置を子ども達にモデルになってもらい行いました。**



上の写真は左から ガラスを踏んで足を怪我したとき(ハンカチ・バンダナで保護)⇒逃げる時に転んで手首を骨折したとき(新聞紙で固定)⇒物が落ちてきて頭を怪我した(パンストで保護)を勉強しました。

## 7月の欠席状況

	熱	咳	手足口病	気管支炎	嘔吐 下痢	突発性発疹	その他
つくし	4名		2名			2名	
たんぼぼ	2名		2名	1名			
すみれ	11名		3名				
ちゅうり っぷ	6名	1名	1名	2名	1名		流行性耳下 腺炎1名
すずらん	6名		2名				
ばら	11名	1名	2名		1名		アデノウイ ルス1名
合計	40名	3名	12名	3名	2名	2名	2名

7月は64名の子どもが病気の為お休みしました。特に発熱でお休みする子どもが多くいました。他に手足口病の子どもが12名いました。

## 8月の欠席状況

	熱	下痢 嘔吐	とびひ	手足口病	アデノウ ウイルス	喘息	その他
つくし				6名	1名		結膜炎1名
たんぼぼ	2名		2名	5名		1名	
すみれ				3名			ヘルパンギーナ 1名
ちゅうり っぷ	2名	2名				1名	
すずらん	2名	1名					咳1名・帯状疱疹 1名
ばら	3名	2名			2名		ヘルペス1名 プール熱1名
合計	9名	5名	2名	14名	3名	2名	6名

8月は41名の子どもが病気の為お休みしました。手足口病にかかった子どもが14名いました。

手足口病に関しては7月・8月の2か月で26名の子どもが罹患しました。9月に入り新たな発症はなくこのまま沈静化してくれることを願います。